

就任ごあいさつ



令和8年4月1日付けで人形峠センターの所長を拝命した中野貴文でございます。

人形峠は日本の原子力の歴史を支えてきた大切な場所です。町民の皆様には永きにわたる多大なご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

現在、人形峠センターでは、これまでの研究開発を通じて蓄積されたウランの取り扱いに関する経験や人材、地域の特徴を活かして、使命を終えたウラン取扱施設の廃止措置や鉱山施設の閉山措置、これらに関する環境研究や廃棄物工学研究を進めています。

安全を最優先に、皆様と共に歩んでまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。

「人形峠サテライトオフィスふらっと」からのお知らせ

- 鏡野町総合文化施設ペスタロッツ館2階の「人形峠サテライトオフィスふらっと」の開館日が変更になりました。
変更前 ペスタロッツ館の休館日・祝日
変更後 ペスタロッツ館の休館日・日曜日・祝日
- 令和8年度のイベント予定は次の通りです。
人形峠センター施設見学：8/22（土）
親子工作教室：10/24（土）、12/19（土）、2/27（土）
いずれも事前予約が必要です。詳しくは、人形峠センターもしくは人形峠サテライトオフィスふらっとにお尋ねください。
ホームページにも掲載いたします。



本紙へのご意見を募集しています。下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：人形峠環境技術センター総務・共生課

TEL 0868-44-2211（代表）

E-mail ningyo-kengaku@jaea.go.jp

令和8年7月発行

人形峠環境技術センターからの お知らせ（vol.22） 【人形峠センターの主な施設の紹介編】

鏡野町さんのご協力をいただき、人形峠センターの近況をお知らせいたします。

第22回目は、人形峠センターの主な施設についてご紹介いたします。



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
人形峠環境技術センター



人形峠センターについて

人形峠センターの主な施設についてご紹介いたします。
今後も安全を最優先にウラン取扱施設の廃止措置や鉱山施設の閉山措置を進めてまいります。



ウラン濃縮原型プラント

ウラン濃縮技術※の商業化に向けた技術開発を行っていた施設です。令和3年に廃止措置計画の認可を受け、設備等の解体を行っています。解体撤去後のスペースに、人形峠センターで貯蔵している六フッ化ウランを貯蔵容器から輸送容器に詰替える設備等を設置するため、廃止措置計画の変更認可申請と環境保全協定に基づく届出を国や自治体に行い、審査や確認をお願いしています。



設備解体前後の状況

開発試験棟・坑廃水処理施設

開発試験棟は、ウラン鉱石の性質や成分を調べる分析・試験を行っていた施設です。現在はウランの探鉱や採鉱をしていた旧鉱山や関連施設の巡視点検、地下水によるウランの移動を予測するために水の流れを把握する研究や、鉱山の閉山措置への取組みとして地下水を抑えるための試験を行っています。坑廃水処理施設では、旧坑道から出てくる坑水の管理などを行っています。



地下水が流れにくい花崗岩の調査

製錬転換施設

ウラン鉱石からウランを取り出し、ウラン濃縮の原料である六フッ化ウランを製造していた施設です。平成20年から平成24年に主要な設備は解体が終了し、解体撤去後のスペースに解体物を保管しています。



解体物の保管状況

濃縮工学施設

遠心分離機によるウラン濃縮技術※を確立するために工場規模で試験を行っていた施設です。現在は設備の解体を行い、使用済み遠心分離機の内部に付着したウランを、遠心機処理設備を使って国の定める基準以下に取り除き、資源として再利用する取り組みを行っています。



使用済み遠心分離機

遠心機処理設備



遠心機処理設備でウランを取り除き、放射能濃度を測定

測定装置



東屋の支柱に再利用

総合管理棟

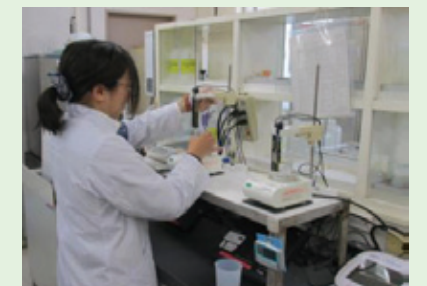
事業計画の立案や事務を行っています。また、放射線測定・監視として施設からの排気や排水及び周辺環境の放射線について、自治体と締結している環境保全協定で定める値よりも低い値での管理を行い、周辺の環境に影響を与えていないことを確認しています。



放射線監視盤のチェック



河川水等のサンプリング



河川水の分析風景

※天然ウランには核分裂するウラン235（燃えるウラン）が0.7%しか含まれていないため、原子力発電の燃料として使える約3～5%に高める必要があります。